

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスたいよう		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員が児童発達支援や放課後等デイサービス、相談支援、青年期の支援等に携わっているため、支援の方法や手立てについての引き出しが多い。	子ども一人一人に応じて、その子にとっての強みや伝わり方を分析し、助言をしている。	いろいろな子と関わり、たくさんケースを見て、分析、対応することでさらに支援の引き出しを増やしていく。
2	事業の説明や支援の必要性等を相談支援専門員と連携し、訪問先に伝えることで、事業への理解や支援体制について共有でき、利用者を取り巻く環境等への配慮も深められる。	訪問先への初回のアプローチは、できる限り相談支援専門員に依頼し、個ではなく組織的な関わりを意識している。	保育所等で見られる姿だけでなく、ご本人を取り巻く環境や育ちの背景も含めた支援の必要性を伝えていけるといい。
3	就学時の移行支援や通常学級と特別支援学級の転籍の際、双方への支援内容等の情報提供と相互理解を図っている。	必要に応じて、保護者と就学相談や説明会に参加したり、事前に懇談をお願いしている。	就学相談や懇談会の段階で、学校側にも複数の出席をお願いしたり、相談員にも同席を依頼していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問する頻度を増やすことが難しい。希望があっても応じられないケースもある。	訪問支援員が他事業と兼務しているため、訪問支援だけに十分な時間を割くことが難しい。	訪問支援員の増員を考えていく。
2	訪問支援は単独で行うため、業務の見直しや改善が難しい。	同じ事業所内でも他者の意見やチェックが入りにくい。	児童発達支援管理責任者と連携、相談をしながら業務の改善に努める。
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービスたいよう	16	公表日	2026年 3月 26日	利用児童数	29名	回収数	16名
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備								
1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	2	0	11	どんな教材がありますか？		
2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	12	0	0	4	事業所ではなく自宅に来てもらっているためわかりません。		
3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	16	0	0	0			
4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5	9	0	2	時期は学校と相談してもらっている。頻度や時間は先生と決めてもらっている。必要時には頻度を増やしてもらえた	訪問に行く日程は保護者に事前にお伝えしていますが、時間帯は学校の都合に合わせて決定しています。	
適切な支援の提供								
5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	11	5	0	0			
6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0			
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	1			
8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	13	2	0	1			
9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	5			
10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0			
11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0			
保護者への説明等								
12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0			
13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0			
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	2	5	8			
15	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0			
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2	2	0	自分も働いているため定期的な面談は難しい。定期的には難しくてもできるだけお話しできる機会を設けるようにします。		
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0			
18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	1			
19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0			
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	12	0	0	4			
21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	12	0	0	4			
22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	15	1	0	0			
非常時等の対応								
23	定期的に通信やホームページ・SNS等、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	0	1	4	11	必要に応じて通信等での情報発信を考えたいきます。		
24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0			
25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	16	0	0	0			
満足度								
26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1			
27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	16	0	0	0			
28	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	忙しいと思いますが、もう少し訪問を増やしてもらえるとありがたいです。支援が必要な時には、できる限り対応できるように努めます。		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

児童デイサービスたいよう

公表日 2026年 3月 26日

施設数 17 回収数 8

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
児童デイサービスたいよう		2026年 3月 26日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思うが、改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
質・体 制 整	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		支援者の理解を深めるために参考文献などの紹介、提示はするが、基本的に教員教材は使用せず行動指針にて指導を行っている。	
	2 利用希望者に対して、職員配置数は適切であるか。		○	利用希望者数と職員配置数に十分の人員は確保できているが、必要に応じて追加の人員を調整させてほしい。	
	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。		○		
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5 従事者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は実施していない。	
	7 職務の役割の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		スキルアップのために外部研修は積極的に受講している。	
適切 な 支 援 の 提 供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもの保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの状態の把握を共通した視点で行われているか。	○			
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	12 この道のり行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントも活用する等により確認しているか。	○			
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の目的と内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援方法を尊重して支援を行っているか。	○			
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しが必要を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○			
	関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
22 障害児の移行には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○			
23 親の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○		保育所等訪問支援に特化した研修の機会はないが、その他の外部研修に参加する機会がある。	保育所等訪問支援に関して専門家から助言を受けられる機会があるように。
24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。		○			
25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○			
26 家庭の対応の向上を図る観点から、家庭に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27 運営規程、利用費負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや保護者の意向を尊重する機会を設けているか。	○			
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31 定期的に、家庭等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	32 父母の会の活動や支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保育所等訪問支援のみ利用されている保護者同士、きょうだい同士の交流の機会はないが、希望があれば外部の親の会やきょうだいの会を開催している。	
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動履歴や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35 個人情報等の取扱いに十分配慮しているか。	○			
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪 問 先 施 所 へ の 説 明 等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に対応する体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		○		
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家庭等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40 個人情報の取扱いに十分配慮しているか。	○			
其 他 時 等 の 対 応	41 訪問先施設からの相談に適切に対応し、依頼関係が深まらなから、専門的助言を行っているか。	○			
	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要研修を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○			
	45 虐待を防止するため、職員研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46 どのような場合に子どもをまず身体保護を行うかについて、明確に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			